



令和6年は、元日に能登半島地震が起き、また9月には同じ地域が大雨に見舞われるなど、災害に心を痛めました。世界各地では激しい紛争が続いて起き、私たちに何かできることはないかと考えます。この1年、世界の多くの国々では大統領選挙などの重要な選挙が行われ、世界の動向からも目が離せません。生成AIの普及など、社会や生活の有り様も引き続き大きく変化しています。社会に目を向け、学びを繋げていくことが私たちに求められています。

また、夏に開催されたパリ五輪での選手・チームの活躍や、MLB大谷翔平選手の偉業達成などには、その過程も含めて、人の持つ力や可能性、力を合わせて成し遂げられるものの大きさを改めて感じました。

学校においてもさまざまなチャレンジがなされています。一人一人の学びをより深められるよう、授業の充実を図っています。また、学校行事や部活動では、生徒の皆さんが中心となって活動する場面が増えています。学校と地域の連携を強める取組も進めています。皆さん一人一人の学校生活や学びはどのようなのでしょうか。学業、進路実現に向けて、またさまざまな活動において、目標実現を目指す過程で経験した苦労も、きっと皆さんの力になっていると思います。令和7年は、それぞれの取組が実り、さらなる活躍が見られる年になりますよう願っています。

今年の冬休みは、曜日の巡りもあり、まとまった日数になりました。1年の疲れを癒やして英気を養いながら、各自で課題意識をもって冬休みを過ごし、新年・3学期を迎えられているでしょうか。3年生は、体調に気を付けて、進路実現に向けてのラストスパートをかけてください。

研修旅行 12月11日～12月13日



12月11日(水)～13日(金)、2泊3日の旅程で2学年研修旅行(東京方面)を実施しました。1日目は新幹線で東京に着いた後、準備してきた班別活動に移りました。東京スカイツリーや上野の国立西洋美術館、渋谷などをそれぞれ見学・体験し見聞を広めました。2日目はクラス別に横浜、新大久保、三鷹の森ジブリ美術館をそれぞれ訪れた後、東京ディズニーシーで過ごしました。3日目は国会議事堂と浅草寺を見学し、帰途につきました。学年やクラスの仲間とじっくりと関わる時間を持つとともに、団体行動における責任等も実感したのではと思います。2年生の皆さんの笑顔と生き生きとした姿、きりっと引き締まった表情が印象的でした。



2学期終業式 12月24日

12月24日(火)、授業の後に一斉清掃を行い、いつもはなかなか手が回らない床の雑巾がけやモップがけ、窓の拭き掃除などに取り組みました。続いて、表彰式と2学期終業式をオンライン中継で実施しました。2学期は、活躍した生徒が多く、嬉しい表彰式となりました。終業式では、県民歌斉唱、校歌斉唱に続いて、下村校長が式辞を述べました。雑誌「エコノミスト」の連載「名門高校の校風と人脈」にかつて掲載された新宮高校の記事を紹介し、「歴史と伝統のある素晴らしい学校であることを知っておいてほしい。」と語り、新宮高校の歴史を画像と共に辿りました。またさまざまな分野で活躍されてきた先輩方も紹介し、在校生の将来に期待していることも伝えられました。その中で、3年生は希望進路の実現に向けて最後の追い込みに注力しよう、2年生は今こそ本格的に進路実現に向かう体制に入ろうと呼びかけました。

終業式後には、生徒支援部部長から冬休みの諸注意もありました。体調には気をつけて年末年始を過ごし、気持ちも新たに3学期を迎えましょう。



◇進路関係の取組◇

医療系ガイダンス 12月4日



12月4日(水)、2学期期末考査を終えた後、13:30~14:00、14:10~14:40の2回に分けて、医療系ガイダンスを実施しました。看護師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、診療放射線技師、臨床工学技士、言語聴覚士等、12分野に分かれて、のべ100名の生徒が説明を受けました。進路を具体的に考えていく上で、大変参考となるお話を伺うことができました。

1 学年進路LHR 12月11日

12月11日(水)に1年生対象の進路LHRをクラスごとに実施しました。進路指導部長と就職主任が、これからの社会をどう生きていくか、その中でどのように進路選択をしていくか、また希望進路を実現するために知っておきたいこと等、1年生の皆さんにじっくりと話をしました。気づいたことや考えたことをぜひ行動にうつしましょう。



2 学年進路LHR 12月18日

12月18日(水)に2年生対象の進路LHRを2回(1・2組、3・4・5組)に分けて実施しました。進路指導部長より、3年生0学期と言われる3学期を目前にしている今、希望進路の実現に向けて本格的に取り組もうと、入試の仕組みやスケジュール等について改めて説明を受けました。今の行動が今後の大きな可能性に繋がります。自分を信じて、学びを進めていきましょう。



◇12月の「くまの学彩」(1学年)◇



「宇宙へ行こう! ~串本からロケットが飛ぶ理由~」 12月13日

12月13日(金)6限に1年1~3組、7限に1年4・5組を対象に「くまの学彩」の授業で、串本古座高等学校の藤島徹先生が、「宇宙へ行こう! ~串本からロケットが飛ぶ理由~」と題して講演してくださいました。串本古座高等学校未来創造学科宇宙探究コースで取り組まれていることや、JAXAでのお仕事など先生ご自身の経験、人工衛星は人が作った衛星でみんなの生活を豊かにしてくれるものであること、カイロソケットには衛星が5機積まれており、高校生が作ったものや寺院を搭載したものがあること、ロケットの発射台は軌道の関係で南と東が海である必要があること等、多くの興味深いお話をしてくださいました。ロケットを飛ばすことで魅力ある町づくりをしていこう、高校生にとってやって無駄なチャレンジはないので、少しでも可能性があるなら挑戦しよう、とエールを送っていただきました。



「心の健康」 12月20日



12月20日(金)7限に1年生を対象に「くまの学彩」の授業で、和歌山県福祉保健部の亀井孝太郎先生が、「心の健康」と題して講演してくださいました。「こころが楽になる話の聴き方」や、こころの不調に気づくこと、声を掛けること、話を聴くことの大切さなどを、分かりやすくお話してくださいました。

